



おたよりから

お便りと弓削通信をありがとうございました。なつかしく拝読させていただきました。今後また送って下さる由うれしく、ありがとうございます。ご覽の通り右手が駄目になりました。読む方はまだ大丈夫です。ここサンビレッジはよい所で三食昼寝つきの生活ですが、なかなか手紙が書けません。梅雨に入りました。お体御大切に。ご主人様によろしく。ごめんください。

(福山市 生名出身 M 様より)

●梅雨の合間の6月9日、生名島の三秀園にて開催された「かみじま自然学校」メダカの観察会風景



携帯電話を握りしめ

インターネット社会の変貌は日に新しい。その変貌は携帯電話に形態として現れる。島ではさほどでもないが、都巿部に出れば、行き交う人々はみなケータイ、スマホを握りしめ往来する。人は自らの鼓動によって振り動かされ動き回る。そして何事かを成し遂げ世を去つて行く。人はまた例外なく時代の子である。時代の境外において社会生활ができるはずもない。そうであるからこそ、世の多くの人々



6月22日～7月21日

尾道市立美術館
〒722-0032 広島市西区宮島町19 千光寺公園内
Tel.0846-23-2281 Fax.0846-20-1582

将来展望をもつての移住促進は町のカンフル剤

若い世代だからこの行動力

モンゴルと米国、国境や経済的格差その他の個人の努力だけで格差を埋め、インターネットは超えがたい壁を、インターネットは日々易々と越えることを可能にする。むろん学びへの渇望、そのための自主的な勉学無くしてはなにをかいわんやだが、その背景にはM I T の名すらしなかった少年に講座を教えた二十六歳の高校長があり、校長が友人の大学生を米国から招き、理科好きの生徒を集めて講座を使つた勉強会を開いたことがあ

モンゴルもチベットと同じく

中国の自治区であるが、自治とは名ばかり政治的には常に中国の圧迫をうけている。そうしたなかでもこのようく次世代を担う子どもが、若い世代の後押しを受けてながら発芽してゆく。

背負うた子を3年搜す

グローバリズムというと経済のそれを思い浮かべがちだが、教育にもそれがある。そして教育の質の均一化が進めば進むほど、実質的に国境というものが無意味にちかづいてゆく。

きどぐち

青木喜代子

(あくく、やんなつちやつた)
つて事が。でも寝室に置かれ

すがいだつた。
しかし、しかし、今では人もうやらむ仲良し脳天氣夫婦で

て運び出すか?。実家に帰つたとしてもご近所様に会わす顔がない。早い話、婚礼道具がかかる。

・ 第2火曜日(やよみ亭)
午後1時から
・ 地区のお年寄り達の交流会
・ 六月は十一日と十八日
・ 七月は九日と十六日です

はこれまで何ともしがたいだろう。(平山和昭)
移住してきた。彼らの目的意識はとりどりにしても、この片田舎に住もうというからは、なんのことはないし、まして親の背でもただでは搔かぬようないふるはずはない「何か」があるはずだと信じたい。もしそういふ出來るものもインターネットあり出来るのもインターネットあり出来るの天才が天分を發揮出来るのも、その天才が天分を發揮出来るのも、いつこそだらう。何十万人に一ヵ月つながられる場に身を置いているのであろう。

教育の質の向上を目指してしかし、いかに片時も手放しても、それを使いこなさねば宝の持ち腐れとなる。

過日の新聞(朝日・6月3日)に「ネット講座が発掘した天才」というコラムがあった。そこで米国の有名大学(マサチューセッツ工科大学、通称M I T)が配信している無料オンライン講座で満点をとったモンゴルの十六歳の少年が、その大学への合格を決め、同大学の奨学金を受け9月から学び始めるという内容だった。

若い世代だからこの行動力

インターネット講座の功罪はもちろんある。そのうえで、主に行動的な若い世代の力。我が町のような凋落に瀕する僻地での起死回生への大きなヒントに見える。

昔から「背負うた子どもに教えられ」という。問題は教えられた先どう行動するか。信じれば浅瀬が渡れ、疑えば深みにはまる。むろん、背負うた子を3

年もあるべきなのか。

やよみ亭からのお知らせ

林笑美子展
生誕百周年
6月22日～7月21日

尾道市立美術館
〒722-0032 広島市西区宮島町19 千光寺公園内
Tel.0846-23-2281 Fax.0846-20-1582

やよみ亭 映画研究会

(無料) 6月15日(土)19:00～
【どなたでもお気軽に覗きにおいでください】



「ホテルルワンダ」
●1994年、ルワンダに勃発した紛争によりフツ族過激派が同族の稳健派やツチ族を120万人以上虐殺。その状況の中、1200名以上の難民をホテルに匿ったホテルマン、ボアール・ルセバギナの実話物語。

主演: ドンチードル 監督: テリー・ジョージ

我が町も近年いろんな若者が

中庸の自治区であるが、自治とは名ばかり政治的には常に中国の圧迫をうけている。そうした

なかでもこのようく次世代を担う子どもが、若い世代の後押しを受けながら発芽してゆく。

「もつて一年、へたりや半年」
という予想を裏切り、我々も結婚三十五年が過ぎた。

挙式当日は早朝より美容師さんが来て、私を花嫁さんに作ってくれた。白い綿帽子被つた私は、玄関ではなく庭の踏み石の上に置かれた草履をはいて外に出た。そこには近所の人が集まつて「ワワー、きれいよ!」と祝福の言葉をくれた。その中を、仲人、両親等と歩いて、迎えの車に乗つた。(こんな大騒ぎをして、何があつても帰れんな)と、冷静に思つた。

その十日前の大吉日、紅白の幕のかかつたトラックにタクシ等を積み、ご近所見守るな大騒ぎして新居を入れた。旅行から帰つた翌朝義母に起こされ、ご近所まわり。これでだめ押し決定打。こりやー帰れんと覚悟した。それでも何度かありました。

いけど僕は一日でも先に逝くと決めてますから大丈夫!」「イヤイヤ、美人薄命と言いますから」「いや、憎まれっ子何とかで」とらちがあかない。でも明日のことはわかりません。宵張りの夫に「今日も一日もよろしく」と言つて休んでいます。今となつてはご近所巻き込み大騒ぎ婚もいいもんだと感謝している。





弓削通信

アーチャー

2013.6.15 №37 (通巻 164) Since 1991.6

発行者 平山和昭 ☎&Fax 0897-77-3072

〒794-2509 愛媛県越智郡上島町弓削土生 318-2

メール yuguru3@ray.ocn.ne.jp
フェイスブック http://www.facebook.com/kazuaki.hirayama
ブログ http://blogs.yahoo.co.jp/yuguru_fish



(7) 議会議員・平山和昭

公共放送(町営CATV)に関する首長の主張と放送法

6日までの間に、議会と理事者、両輪となれる道は何か?
なぜくだらしくこういう事を書くかと言えば、去る5月14日付け愛媛新聞に掲載された「上島町長・議会放送一時認めず」という記事に、取材に対し町長は「(議会放送)は行政の自主放送であり放送の責任者は町長とはいえないからだ。町長とはいえ国から認可を受けて公共放送に対するこの町長の認識は、じつはひどい勘違いであり、したがってそれに基づく放送への干渉は、職権の誤用ではないのかということになる。
そもそも出来事は、4月2日臨時議会(今治航路赤字)

議会と理事者、両輪となれる道は何か?

補填議案審議)冒頭に議長が、先の4月11日に開かれた全員協議会の席上、去る3月18日開催された定例議会で一般会計予算案が一旦否決されたことに關し、関係者や町民に心配と迷惑をかけたと議会批判を蒸し返したことにはじまる。さらに4月26日の臨時議会で議長は、3月定例議会での一般会計予算案を通過させ、また法に定める権限に抵触せず、また法に定める権限ではないにもかかわらず、町長だから責任者として放送に干渉できるとの町長の認識である。番組内容が放送法に抵触せぬアンタッチャブル(触りはいけない)な領域なのである。

この意を表明したのである。そのことが、議事日程に記載されたとき、あるいは災害対策基本法五十七条の通信設備の優先利用時以外には、運営者すら干渉出来ぬアンタッチャブル(触りはいけない)な領域なのである。5月7日、「上島町CATVに放送を待つよう指示した。

なぜ放送法が定められたか
言うまでもなく国家権力が放送を独占したり、放送内容に口挟みだりして、正しい情報が主権者たる国民に伝えられなくなることを防ぐためである。情報統制が何を生むかは、いまだ有していない国々とその民はどういう状態にあるかを見れば明らかのことだ。

放送法は1950年(昭和25年)6月施行された。

なぜ放送法が定められたか
放送を独占したり、放送内容に口挟みだりして、正しい情報が主権者たる国民に伝えられなくなることを防ぐためである。情報統制が何を生むかは、いまだ有していない国々とその民はどういう状態にあるかを見れば明らかのことだ。

三条の2 放送事業者は、国内放送及び内外放送(以下「国内放送等」という)の放送番組の編集に当たつては、次の各号の定めるところによらなければならぬ。

一、公正及び善良な風俗を害しないこと。

二、政治的に公平であること。

三、報道は事実をまげないですること。

四、意見が対立している問題については、できるだけ多くの

「放送法」というものがある。公共放送を行う者が守るべき事柄を定めたもので、目的は放送が国民に次に掲げる原則に従つて、放送を公共の福祉に適合するように規律し、その健全な発達を図ること、とされている。

主権者は町民。判断は町民がする。

「放送法」第三条には、(放送番組編成の自由)として、法律に定める権限に基づく場合でなければ、何人からも干渉され、又は規律されることがない。

「放送法」第三条における「放送法による訂正放送や災害対策基本法による放送の要請など」とされる。放送法に定める経営委員会の権限すら含まれていない。まして人口七、五〇〇人ほどの町の一介の首長が含まれる話ではない。

アンタッチャブル

では、放送法第三条における「法律に定める権限」とはなにか。それは放送法九条による訂正放送や災害対策基本法による放送の要請などとされる。放送法に定める経営委員会の権限すら含まれていない。まして人口七、五〇〇人ほどの町の一介の首長が含まれる話ではない。

角度から論点を明らかにする

こと。

とされ、有線テレビジョン放送も放送法の適用を受ける。(第二条・放送の定義1)



オス化?押すか? どうする女子!?

安藤朋生
茨城県



女性のオス化現象が起きているらしい。実際に47%の女子が「オス化している」と感じているというのだ。まさに他人事ではない。原因は今の環境にある。

ストレスや睡眠不足からホルモンバランスが乱れ、男性ホル

モン過多になってくる。男性に混じりバリバリ仕事をし、女性であるという感覚が薄くなり、何をするのにも面倒と思うらしい。これには質の良い睡眠とストレスを溜め込まないこと、女性ホルモンに似た働きをするイソフラボン、大豆製品をよく摂るなど生活を見直す必要がある。理性も働かない領域といふことなのだろうか。ということを爽やかな早朝に書いてい

ることにもギャップを感じる。今気になっていことがある。天草の教会だ。何を思ったのか、ふと行きたい風が吹いた。

ここ茨城にだって多分教会はあるはず。知らないだけで。なんというか、教会の持つ意味を履き違えた輩が建てた物ならあるからで、本当の教会の意味やその歴史をそこでは垣間見ることは出来ない。だから島の教会がいいのだ。大胆に来たぞ!とい

うよりか、厳かにその場に佇みたい。

中々旅立てない者に冒險家というのを見たりする。グレートジャーニー展を見てきたのだが、やり通す精神力の強さ、あっぱれである。求める突き詰めることに半端がない。弓削に行くだけヒーヒーしてしまう私には、冒險家の道虚しく向いていないのかとも…90歳でエベレスト登頂だったんだしなあ。夢はやはり諦めたらダメということか。

